

1. 3月の全国のスルメイカの水揚げ状況

全国の主要港における生鮮スルメイカの水揚げ数量(漁業情報サービスセンター調べ)は429トンでほぼ前年同月並みで、過去5年(2016～2020年)の3月平均447トンを5%下回った。今年の1～3月の累計水揚げ量は1,315トンで、前年同期1,752トンを25%下回った。1～3月の累計水揚げ量で、過去5年間で最も多かったのは2016年の3,119トンで今年はその3分の1に過ぎなかった。また、最も少なかったのは2017年の1,136トンで、今年はこちらに次ぐ水揚げ量であった。

2. 3月の地区別スルメイカの水揚げ状況

地区別の3月の水揚げ量は九州が193トンで全国の45%を占め、前年同月の6%減、山陰が99トンで、前年同月の4割減であった。一方、北陸・日本海東北が96トンで、前年同月の9割増と好調であった。

スルメイカ漁は3～4月の端境期を迎え、1年を通じて水揚げ量が最も少なくなる時期となる。小型イカ釣りの主漁場は、スルメイカの産卵場周辺海域である九州北部(対馬～壱岐)～山陰沖の海域に形成された。この海域では、例年の3月はスルメイカの漁獲よりもケンサキイカ(シロイカ)が多く、水揚げ量はスルメイカ3～4割に対し、ケンサキイカ6～7割である。漁獲されたスルメイカは満1歳の寿命に近いものが多く、20～25尾入サイズ主体に30尾入混じり。3月下旬には、隠岐諸島・西郷で秋季発生群とみられる40尾入・バラサイズの水揚げが少量みられた。

現在、日本海の小型イカ釣り漁場の北端は能登半島沿岸

で、金沢では3月上・中旬には1日数トンの水揚げがあるが、3月下旬以降は1日数百kg～1トン程度に減少した。金沢のサイズは、25尾入主体に20尾入・30尾入であり、40尾入やバラはなく、やや大きいものが目立った(秋季発生群ではなく、南下群・滞留群の可能性もある)。また、金沢や三陸・石巻では、底曳網による漁獲がみられた。金沢では数十kg/日、石巻では数百kg/日の漁獲がみられた。他地域では、三重の九鬼や片田等の定置網の漁獲も1トン/日とやや目立ったほか、三重の奈屋浦のまき網漁にも混じった。

3. 好調だった富山湾のスルメイカ定置網漁

特に3月に好調だったのは、富山湾(富山～石川)の定置網によるスルメイカの水揚げである。富山県水産情報システム(<http://www.fish.pref.toyama.jp/>)のデータによれば、富山湾のスルメイカの漁獲量は、昨年12月は石川県側も含め計107トンであったが、1月には518トンに増加し、2月は551トン、3月は648トンと好調が持続した。サイズは15～20尾入主体(1尾250～330g)であり、日本海の南下群(冬季発生群)が産卵場(山陰～九州西沖)に達する前に、富山湾に流入したものと思われる。豊洲市場などの消費地市場の入荷も、1月以降、北陸の定置物の取扱量が例年より多く、入荷の主体となった。

なお、富山湾の定置網で3月に水揚げが多かったのはマイワシの7,014トンで、スルメイカ648トン、ホタルイカ582トンの3魚種であった。特に、富山湾西部の氷見や石川の七尾で、富山湾のスルメイカの漁獲の半分以上を氷見が占めた。氷見では3月下旬には10～15トン/日の入網がみられたが、4月以降は3～5トン/日に低下している。

今後、4月末～5月には能登半島沖で小型イカ釣り漁が例年本格化し、6月には日本海で船凍船によるスルメイカ操業も

始まり、太平洋・三陸で小型イカ釣りや底曳き網によるスルメイカ漁も始まる。今期の漁模様を占う上で情報がまだ少ないが、少しでも好漁を期待したい。

(水産情報部)

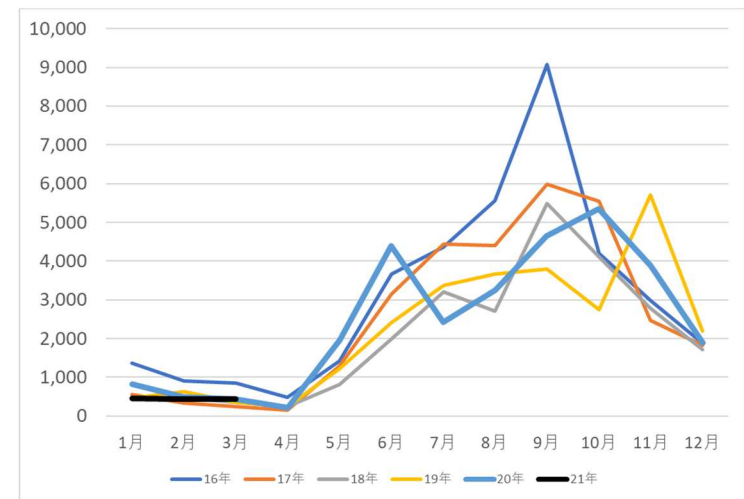


図1. 生鮮スルメイカ月別水揚げ量(全国) 単位: トン (出典: おさかなひろば)

表1. 生鮮スルメイカ月別水揚げ量(全国) 単位: トン

月	16年	17年	18年	19年	20年	21年	16/20年平均
1月	1,369	561	813	463	825	451	806
2月	901	334	463	637	490	435	565
3月	850	241	347	358	438	429	447
4月	481	148	244	247	206		265
5月	1,427	1,287	815	1,211	1,964		1,341
6月	3,657	3,152	1,993	2,417	4,397		3,123
7月	4,373	4,440	3,208	3,373	2,418		3,562
8月	5,554	4,409	2,702	3,671	3,259		3,919
9月	9,081	5,988	5,486	3,791	4,655		5,800
10月	4,192	5,550	4,107	2,746	5,344		4,388
11月	2,980	2,475	2,784	5,699	3,869		3,561
12月	1,877	1,831	1,720	2,192	1,891		1,902
年計	36,742	30,415	24,680	26,803	29,754	1,315	29,679
1-3月計	3,119	1,136	1,622	1,457	1,752	1,315	1,817

表 2. 生鮮スルメイカ 市場別・海域別水揚量 単位：トン

市場名	2021年		2020年		3月比	1-3月比
	3月	1～3月	3月	1～3月		
石巻	0	42	3	228	3%	18%
銚子		24	1	26	0%	92%
三陸・常磐計	1	214	4	518	25%	41%
下田	7	7	4	4	175%	175%
奈屋浦	9	10	1	1	900%	1000%
八幡浜	21	46	13	30	162%	153%
東海・四国計	38	73	18	36	211%	203%
酒田	4	86	1	132	400%	65%
新潟	2	14	5	10	40%	140%
魚津	22	50	6	33	367%	152%
小木	21	28	10	35	210%	80%
金沢	47	80	29	116	162%	69%
北陸・東北計	96	265	51	329	188%	81%
境港	4	39	19	74	21%	53%
浜田	79	123	76	104	104%	118%
下関	16	44	62	112	26%	39%
山陰計	99	215	160	306	62%	70%
福岡	36	75	26	68	138%	110%
唐津	25	57	16	84	156%	68%
松浦	85	236	123	293	69%	81%
長崎	18	82	25	72	72%	114%
佐世保	29	98	16	46	181%	213%
九州計	193	549	206	563	94%	98%
計	429	1,315	438	1,752	98%	75%

表 3. 富山湾における 3 月の主要魚種市場別水揚量 単位：トン （出典：富山県水産情報システム）

魚種	氷見	新湊	魚津	富山計	七尾	能都町	石川計	総計
マイワシ	2,182	606	126	2,972	2,297	1,845	4,142	7,114
ホタルイカ	1	120	42	582	0	0	0	582
スルメイカ	319	107	23	504	138	5	143	648
全魚種合計	2,668	938	288	4,483	2,444	2,054	4,840	9,323
スルメ割合	49%	17%	4%	78%	21%	1%	22%	